（記者発表資料）　　２０１９年６月５日
公益財団法人 放送文化基金

第４５回「放送文化基金賞」表彰対象について

放送文化基金賞は、過去１年間（2018 年 4 月～2019 年 3 月）の放送の中から選ばれた、優れたテレビ、ラジオ番組や個人・グループに毎年贈られる賞です。今回は、全国の民放、ＮＨＫ、プロダクションなどから、全部で２７９件の応募、推薦がありました。４月から約２か月にわたる厳正な審査の結果、テレビドキュメンタリー、テレビドラマ、テレビエンターテインメント、ラジオの４つの番組部門で、それぞれ最優秀賞、優秀賞、奨励賞の１６番組と、演技賞や企画賞など個人６件、さらに個人・グループ部門の放送文化、放送技術で８件の受賞が決まりました。

受賞者には、賞牌・トロフィー、賞金が贈られます。賞金は、番組部門の最優秀賞―１００万円、優秀賞―５０万円、奨励賞―３０万円、番組部門の個人賞―２０万円、個人・グループ部門―３０万円です。

贈呈式は、２０１９年７月２日（火）午後４時３０分からホテルオークラ東京で行います。

１．　番組部門――――――１６番組、６件
（１）テレビドキュメンタリー番組……５番組
最優秀賞―１　優秀賞―１　奨励賞―３
（２）テレビドラマ番組……４番組
最優秀賞―１　優秀賞―１　奨励賞―２
（３）テレビエンターテインメント番組……４番組
最優秀賞―１　優秀賞―１　奨励賞―２
（４）ラジオ番組……３番組
最優秀賞―１　優秀賞―１　奨励賞―１
（５）個人……６件
「演　技　賞」―― ３件
「企　画　賞」―― ２件
「脚　本　賞」―― １件

２．　個人・グループ部門――――――８件
（１）放送文化……４件
（２）放送技術……４件

お問い合わせ先　放送文化基金（担当　安部、川副、鈴木）
東京都渋谷区宇田川町 41―1　共同ﾋﾞﾙ５F
℡（０３）３４６４－３１３１

第４５回「放送文化基金賞」受賞一覧

部門		賞（賞金）	受賞者	番組名・業績
番組部門	テレビドキュメンタリー番組	最優秀賞（100万円）	NHK	NHKスペシャル 消えた弁護士たち ～中国“法治”社会の現実～
		優秀賞（50万円）	フジテレビジョン	ザ・ノンフィクション　犬と猫の向こう側
		奨励賞（30万円）	NHK水戸放送局	BS1スペシャル　カノン ～家族のしらべ～
		奨励賞（30万円）	テレビ岩手	山懐に抱かれて
		奨励賞（30万円）	NHK	ETV特集 静かで、にぎやかな世界 ～手話で生きる子どもたち～
	テレビドラマ番組	最優秀賞（100万円）	NHK名古屋放送局	NHKスペシャル　詐欺の子
		優秀賞（50万円）	テレビ朝日	土曜ナイトドラマ　おっさんずラブ
		奨励賞（30万円）	テレビ東京	ドラマ24　フルーツ宅配便
		奨励賞（30万円）	NHK、NHKエンタープライズ	ドラマ10　透明なゆりかご
	テレビエンターテインメント番組	最優秀賞（100万円）	共同テレビジョン、NHK、NHKエンタープライズ	チコちゃんに叱られる！
		優秀賞（50万円）	読売テレビ放送	～両親ラブストーリー～　オヤコイ
		奨励賞（30万円）	CBCテレビ	あなたの思い出　ジオラマにしませんか？
		奨励賞（30万円）	テレビ東京、日経映像	美の巨人たち 続々発見！若冲スペシャル～新たな傑作から人物像を探る～
	ラジオ番組	最優秀賞（100万円）	RKB毎日放送・TBSラジオ 共同制作	SCRATCH　差別と平成
		優秀賞（50万円）	ニッポン放送・日本映画放送	ラジオドラマ「ストリッパー物語」
		奨励賞（30万円）	琉球放送	消せない記憶～元学徒兵の苦悩～
		演技賞（20万円）	桃井かおり	NHKスペシャル　詐欺の子
		演技賞（20万円）	濱田　岳	ドラマ24　フルーツ宅配便
		演技賞（20万円）	広末涼子	ラジオドラマ「ストリッパー物語」
		企画賞（20万円）	長嶋　愛	ETV特集 静かで、にぎやかな世界 ～手話で生きる子どもたち～
		脚本賞（20万円）	高田　亮	NHKスペシャル　詐欺の子
		企画賞（20万円）	樅野太紀	～両親ラブストーリー～　オヤコイ
個人・グループ部門	放送文化	（30万円）	髙橋孝之（中海テレビ放送 副会長、サテライトコミュニケーションズネットワーク 社長）	30年間にわたり地域・住民との協働による番組作りでケーブルテレビ界をリードし、全国120局以上に採用された緊急情報サービスで減災に貢献
		（30万円）	田辺眞人（園田学園女子大学名誉教授）	長年にわたる地域放送への貢献
		（30万円）	『RAB 耳の新聞』パーソナリティと制作スタッフ（青森放送）	目が見えないパーソナリティたちの番組制作への挑戦と、ラジオ放送40年の成果
		（30万円）	NHK 潜水チーム（NHK）	高度な専門技術力を駆使して半世紀以上にわたり多彩な水中映像コンテンツを制作
	放送技術	（30万円）	白黒映像自動カラー化システム開発グループ 代表　遠藤　伶（NHK）	白黒映像の自動カラー化システムの開発
		（30万円）	AIを用いた動画要約システム開発グループ 代表　宮原駿太（NHK青森放送局）	AIを用いた動画要約システムの開発
		（30万円）	アオイエリカプロジェクト 代表　川上皓平（日本テレビ放送網）	テレビ局におけるアンドロイドアナウンサー「アオイエリカ」の開発と活用
		（30万円）	木村浩也（TBSテレビ）	ハイブリッド方式を用いた「TBS NEWS」24時間字幕付与システムの開発

＊番組部門の各賞と個人・グループ部門は、受付順による。

第４５回 放送文化基金賞
「 番 組 部 門 」
― テ レ ビ ド キ ュ メ ン タ リ ー 番 組 ―

最 優 秀 賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者 等	概　　要	選 考 理 由
ＮＨＫスペシャル 消えた弁護士たち ～中国“法治”社会の現実～ 2018.7.22（日） ＮＨＫ	語り　守本　奈実 取材　為井　貴規 松田　智樹 撮影　山口　卓也 竹内　宏之 ﾘｻｰﾁｬｰ　許　俊芳 編集　鈴木　裕之 音響効果　滝澤　俊和 ﾃﾞｨﾚｸﾀｰ　大濱　敦 ﾌﾟﾛﾃﾞｭｰｻｰ　黒柳　誠司 制作統括　鴨志田　郷 菅谷　敦	2015 年 7 月。中国当局は 300 人を超える弁護士や人権活動家を一斉に摘発した。長期間拘束された 40 人以上の弁護士は「人権派」と呼ばれ、人々の権利を守るためには当局を訴えることも辞さない人たちだった。 ＮＨＫは、拘束された人権派弁護士やその家族を１年間にわたって取材。そこから見えてきたのは、習近平指導部が掲げる「法治社会」の実態だった。夫の釈放を訴える妻たちに対して強まる当局の監視や締め付け。さらに、彼女たちを助けようとする弁護士も「資格取消し」など、様々な方法で追い詰められていた――。 中国政府が圧力を強める背景には「人々の連帯」への危機感がある。経済成長が続くなか、権利意識を高める人々。不満を高めた人々が繋がり始めれば、統治体制を揺るがしかねない。この不満の芽を摘み、社会の安定を図るために、共産党は「法治」を唱え、法手続きを整備。その一方で、増加する弁護士を厳しく管理し、批判の矛先が政府に向かわないよう統制を強めてきた。 番組では、抑圧される弁護士とその家族の姿を通して、中国社会の現実を見つめた。	中国当局による「人権派」弁護士 300 人や人権活動家の一斉摘発。摘発された弁護士は長期拘束され、資格取り消しなど、さまざまな弾圧を受けた。 その暴挙の背景には、経済成長とともに「市民」が生まれ、権利意識が芽生えていることへの、中国政府の強い危機感がある。 故に、おそらく外国メディアにしか許されない取材だったであろう状況の中で、1 年に及ぶ密着取材をなしえた功績は大きい。 残された家族にまで及ぶ、弾圧の不気味で狡猾な実態を、迫力ある映像で伝えた。

優 秀 賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者 等	概　　要	選 考 理 由
ザ・ノンフィクション 犬と猫の向こう側 前編 2018.6. 3（日） 後編 2018.6.10（日） フジテレビジョン	ﾁｰﾌﾌﾟﾛﾃﾞｭｰｻｰ　張江　泰之 撮影　谷茂岡　稔 編集　大泉　渉 音響効果　中村　由紀 ﾌﾟﾛﾃﾞｭｰｻｰ・演出・構成　山田あかね 出演　中谷　百里 田原　好巳	動物愛護団体「犬猫みなしご救援隊」の代表・中谷百里さんは、20 年以上前から、行き場のない犬や猫の保護活動を行ってきた。そんな中谷さんが近年、力をいれているのが、「多頭飼育崩壊」。世話ができないほど犬や猫を飼い、自分自身の生活もままならなくなるケースが増えているのだ。30 匹以上の犬を放置して引っ越した高齢の女性、100 匹以上の猫を飼い、一軒家が廃墟のようになった中年の男性などを次々と訪ね、増えすぎた犬や猫を引き受け、去勢不妊手術をしていく。不幸な犬や猫の向こう側…そこには、行き場のない孤独な人間の姿があった。	空前のペットブームの陰で、年間 6 万匹以上の犬猫が殺処分されている。「犬猫みなしご救援隊」の活動は、これらの犬猫を救うだけではなく、多頭飼育崩壊の凄まじい現場にまで踏み込む。思わず目を背ける映像を隠さず見せることによって、現代の貧困と孤立を余すことなく伝えた。

奨　励　賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者　等	概　　要	選考理由
ＢＳ1スペシャル カノン　～家族のしらべ～ 2018.10.28（日） ＮＨＫ水戸放送局	撮影　駒形　明子 音声・照明　鍵山　瑞希 音響効果　高石真美子 編集　寺澤　昌子 取材　佐々真梨恵 ﾃﾞｨﾚｸﾀｰ　安里　愛美 ﾃﾞｽｸ　興野　理 制作統括　西岡　重徳 堀川　篤志 中山　武	ひとつ屋根の下で暮らす親子。父の哲雄、母の英子、そして娘のしおり。3 人に血のつながりはない。しおりは、生後 25 日で乳児院に預けられた。哲雄と英子は不妊治療を長年続けたが、子どもはできなかった。そんな 3 人は、しおりが 2 歳の時、「特別養子縁組」で家族になった。それから 15 年あまり。思春期を迎えたしおりの頭に浮かぶのは、実母への思い。勉強や進路をめぐりすれ違い、ぶつかり合う父への不信感。『血のつながりがないからわかってもらえないのか・・』そして、しおりは家を出た。3 人は、親子の絆をつむぎ直せるのか・・。3 人の１年間を取材した。	生後すぐに乳児院に預けられた娘と、子が授からなかった夫婦。特別養子縁組で、家族になった 3 人。やがて、娘は成長して反抗し、家出。その意外な結末には誰もが驚くだろう。 筋書きの書けない、そしてどこに連れていかれるのかわからない、ヒューマンドキュメントの典型とも言うべき作品。
山懐に抱かれて 2019.2.17（日） テレビ岩手	ﾃﾞｨﾚｸﾀｰ・ﾌﾟﾛﾃﾞｭｰｻｰ　遠藤　隆 撮影　田中　進 構成・編集　佐藤　幸一 ﾅﾚｰﾀｰ　江口　アミ 出演　吉塚　公雄 登志子 都 公太郎 恭次 令子 純平 雄志 壮太	岩手県田野畑村に住む吉塚公雄さんは山地酪農という、四季を通じて牛を山に放ち、シバと自前の牧草だけで牛を育てる循環型農業を実践している。採れる牛乳は安全だが、量は一般の酪農家の 3 分の 1 以下で、年収 100 万円にも満たない状況が続いた。家族は五男二女の 9 人家族。食事はご飯に塩という日も少なくなかった。吉塚さんはプライベートブランドの生産に踏み切り、生活費まで借金するという状態からは脱した。しかし子どもが成長するにつれて親子の対立が目立つようになった。番組は 24 年間の長期取材を通して家族の在り方や心の豊かさを問い直す。	牛を山に放つ山地酪農を実践する父親と、その家族を長期にわたって追った作品。生活苦、父親と子供たちとの対立、ブランド化への努力などが淡々と描かれて大河小説のようだ。キー局では不可能であろう、24 年に及ぶ長期取材が評価された。
ＥＴＶ特集 静かで、にぎやかな世界　～手話で生きる子どもたち～ 2018.5.26（土） ＮＨＫ	撮影　中尾　潤一 音声　渡辺　博史 猿渡美奈子 音響効果　最上　淳 映像技術　小島　碧波 編集　松本　哲夫 文字通訳　茂木　脩佑 ﾃﾞｨﾚｸﾀｰ　長嶋　愛 ﾃﾞｽｸ　浅田　環 制作統括　村井　晶子 堀川　篤志	子どもたちが目をキラキラさせ、“手話”で教科書にある「春のうた」を朗読。声はない。しかし“静かな朗読”を見ていると、早春の爽やかな風が頬を撫で、いぬのふぐりのちっちゃな花々が目の前に咲き乱れる。全国のろう学校では長年、聞こえる人が大半の社会に適応することが重視されてきた。しかし明晴学園は　“ろう”のまま生きることを大切にする。そんな子どもたちも、いずれ学校を巣立っていく。“ろう”として生きる力を培った子どもたちに対して、社会は受け入れる姿勢を持てているか。子どもたちの言葉が問いかける。	ろう者の子どもたちが通う明晴学園のユニークな教育を伝える作品。長年、ろう学校では、読唇と発声練習が主で、手話は禁じられてきたという。だが、明晴学園では、手話ですべての授業を行う。子どもたちの生き生きした表情が素晴らしいと評価された。

第４５回 放送文化基金賞
「 番 組 部 門 」
ー テ レ ビ ド ラ マ 番 組 ー

最 優 秀 賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者 等	概　　要	選 考 理 由
ＮＨＫスペシャル 詐欺の子 2019.3.23（土） ＮＨＫ名古屋放送局	作　高田　亮 音楽　勝井　祐二 mouse on the keys 制作統括　吉永　証 東野　真 演出　川上　剛 美術　川名　隆 技術　森　純一 音響効果　最上　淳 出演　中村　蒼 長村　航希 髙橋ひかる 渡邉　蒼 濱津　隆之 奥田　洋平 小倉　一郎 青山　倫子 坂井　真紀 イッセー尾形 桃井かおり ほか	2019年の東海地方。一人暮らしの光代に、娘をかたる女から電話がかかってきた。騙された経験のある光代は、警察に通報し捜査に協力。14歳の「受け子」の和人の逮捕に貢献する。和人を送り込んだのは、「かけ子」の大輔と「見張り」の遠山。幼馴染の二人は詐欺を「老人の『死に金』を社会に還元する義挙」と信じていた。和人に続き遠山も逮捕され、裁判を傍聴しに行く大輔。そこで、証人の光代が、以前自分が騙した人間だと知り衝撃を受ける。実の息子が行方不明の光代は、息子をかたる大輔のニセ電話に騙され、それが原因で光代の夫は自殺した。大輔から詐欺の金だと知らず、仕送りを受けていた母の春美。一連の報道から、息子を問い詰め、貧困から息子を詐欺師にしてしまったと自らを責める。そんな母の姿を見て、大輔は騙し取った金を返すため光代を訪ねる。だが光代は、実の息子からの電話だったと言い張る。自らそう思い込ませることで、何とか光代は正気を保っていたのだ。詐欺は資産だけでなく、人生も奪い去ってしまう。ようやく気づいた大輔は、警察へ出頭する。	「受け子」の役を担う若者たちがピラミッド構造の犯罪組織から抜け出せなくなる事情や、騙された被害者が自らを責めて追い込まれてしまう社会構造を鋭く描いた完成度の高いドキュメンタリードラマである。オレオレ詐欺の実態を詳細に暴くのみならず、登場人物の心理を丁寧に描いたドラマ性が非常に優れていた。観終わったあと、犯罪そのもののみならず、親子や友人関係のあり方についても深く考えさせられる優れた作品である。

優 秀 賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者 等	概　　要	選 考 理 由
土曜ナイトドラマ おっさんずラブ 2018.4.21（土） ～6.2 （土） ＜全７ 回＞ 応募は第１ 回、２ 回 テレビ朝日	脚本　徳尾　浩司 演出　瑠東東一郎 山本　大輔 Yuki Saito ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞﾌﾟﾛﾃﾞｭｰｻｰ　桑田　潔 ｾﾞﾈﾗﾙﾌﾟﾛﾃﾞｭｰｻｰ　三輪祐見子 ﾌﾟﾛﾃﾞｭｰｻｰ　貴島　彩理 神馬　由季 松野千鶴子 主題歌　ｽｷﾏｽｲｯﾁ 出演　田中　圭 吉田鋼太郎 林　遣都 内田　理央 眞島　秀和 大塚　寧々 金子　大地 伊藤　修子 児嶋　一哉 ほか	女好きだが全くモテない、33歳独身の不動産屋営業マン・春田（田中圭）はある日、ピュアすぎる乙女心を隠し持つ“おっさん上司”黒澤（吉田鋼太郎）と、同居している“イケメンでドＳな後輩”牧（林遣都）から、愛の告白をされてしまう。未曽有のモテ期を迎えた春田は、ぐいぐい迫ってくる男たちに翻弄されながらも、いつしか“人を好きになるとは、どういうことなのかー？”という問いにまっすぐに向き合い、成長してゆく…。	ＬＧＢＴＱが問題とされる現代において取り上げられるべき男性同士の恋愛を、女性装を用いずに、大きな笑いに包んで描いてみせた手腕が高く評価された。吉田鋼太郎や田中圭らの演技も秀逸で、大いに楽しめるドラマだ。

奨　励　賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者 等	概　　要	選 考 理 由
ドラマ 24 フルーツ宅配便 2019.1.11（金） ～3.29（金） ＜全 12 回＞ 応募は 第 1 話「ゆず」 テレビ東京	ﾌﾟﾛﾃﾞｭｰｻｰ　濱谷　晃一 木下真梨子 赤城　聡 押田　興将 原作　鈴木　良雄 脚本　根本ノンジ 音楽　高田　漣 監督　白石　和彌 沖田　修一 是安　祐 出演　濱田　岳 仲　里依紗 前野　朋哉 徳永　えり 山下　リオ 北原　里英 原　扶貴子 荒川　良々 松尾スズキ ほか	東京で勤めていた会社が倒産して地元に戻った咲田（濱田岳）は、昔の知り合いであるミスジ（松尾スズキ）と出会い、デリバリーヘルス「フルーツ宅配便」の見習い店長兼ドライバーとして働き始める。子供の学費、整形費用、詐欺で背負った借金…など、様々な事情を抱えながらもたくましく生きる女性たちの姿を目にし、戸惑いながらも自分にできることは何かを考える咲田。そんな折、咲田は中学時代の同級生のえみ（仲里依紗）に再会するが、自分がデリヘルで働いていることを思わず隠してしまう。しかし、えみもまた秘密を抱えていた…。	松尾スズキが主催する劇団・大人計画のノリが巧みに反映された作品で、実におもしろいのだが、扱うテーマは社会の底辺で声を出せない弱者に寄り添うという重たいものであるというギャップがよい。主演の濱田岳の演技が光った。
ドラマ 10 透明なゆりかご 2018.7.20（金） ～9.21　（金） ＜全 10 回＞ 応募は 第 1 回「命のかけら」 第 2 回「母性ってなに」 ＮＨＫ ＮＨＫエンタープライズ	原作　沖田　×華 脚本　安達奈緒子 音楽　清水　靖晃 制作統括　須崎　岳 髙橋　練 演出　柴田　岳志 村橋　直樹 鹿島　悠 美術　小林　史幸 技術　長谷川　理 音響効果　島津　楽貴 出演　清原　果耶 瀬戸　康史 酒井　若菜 マイコ 葉山　奨之 安藤　玉恵 平岩　紙 蒔田　彩珠 水川あさみ 原田美枝子 ほか	町の小さな産婦人科医院を舞台に、ひとりの感性豊かな少女の目線で“命とは何か”を問い、見つめてゆく物語。女性を中心に圧倒的な共感を呼んでいる沖田×華さんの漫画作品をドラマ化。脚本はＮＨＫ総合で初執筆の安達奈緒子さん。主演はドラマ初主演となる清原果耶さん。物語は幸せな出産ばかりでなく、中絶や母体死亡といった産婦人科の“影”の部分にも向き合いながら、時に明るく、時に切なく、主人公たちの命への“祈り”にも似た想いをつむいでゆく。観ていてどこかほっこりする、でも心の底までズドンと来るような、そんなドラマを目指した。	若者が新たな生命に向き合うことの大切さをみずみずしく描いたドラマであり、一つの見方や思いが、時間を経ると変わっていくことの大切さをしっかり描いている点が作品の奥深さとなっている。多くの若者に見てもらいたい。

第４５回 放送文化基金賞
「 番 組 部 門 」
― テ レ ビ エ ン タ ー テ イ ン メ ン ト 番 組 ―

最 優 秀 賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者 等	概　　要	選 考 理 由
チコちゃんに叱られる！ 2018.4.13（金）～ 毎週金曜日放送中 応募は第 37 回 共同テレビジョン ＮＨＫ ＮＨＫエンタープライズ	制作統括　水高　満 西ヶ谷力哉 ﾌﾟﾛﾃﾞｭｰｻｰ　小松　純也 中島由布子 相澤　幸一 谷口　欽也 演出　河井　二郎 吉川　修 亀山　剛志 構成　海老　克哉 出演　チコちゃん （声：木村祐一） 岡村　隆史 和田アキ子 つるの剛士 塚原　愛 語り　森田美由紀	「いってらっしゃーいってお別れするとき、手を振るのはなぜ？」「かんぱーいってするときにグラスをカチン、あれはなぜするの？」考えているようで、考えていないこと。知っていて当然のようで、実は知らないこと。生きているとたくさんあります。 番組では、かわいいけど毒舌でちょっと生意気な５歳の女の子、「チコちゃん」が、のほほんと生きている大人に、身近で素朴な、でもハッとする疑問を突きつけ、答えられないでいると「ボーっと生きてんじゃねーよ！」と叱りつけます。 きっと誰かに話したくなる疑問・話題ばかり、楽しみながら、世の中の奥深さを知ることができる番組です。	2018 年 4 月のレギュラー放送開始以来、子供からお年寄りまで絶大な人気を集め、家族が揃って楽しめるバラエティの新しい可能性を示した。着ぐるみとＣＧを最新技術で合成したチコちゃんというリアルでバーチャルなキャラクターの魅力もさることながら、身近な疑問を見つけ、その謎を大真面目に探っていくことの楽しさ、奥深さを多くの視聴者に再発見させてくれた。この世界はまだまだ知らないことで満ち溢れていると気づかせてくれる最高のエンターテインメント番組である。

優 秀 賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者 等	概　　要	選 考 理 由
～両親ラブストーリー～ オヤコイ 2018.9.27（木） 読売テレビ放送	ﾁｰﾌﾌﾟﾛﾃﾞｭｰｻｰ　勝田　恒次 ﾌﾟﾛﾃﾞｭｰｻｰ　汐口　武史 伊藤　隆洋 森　俊和 演出・ﾌﾟﾛﾃﾞｭｰｻｰ　藪木健太郎 ﾄﾞﾗﾏ脚本　北川亜矢子 ﾄﾞﾗﾏ演出　小椋　久雄 構成　樅野　太紀 出演　加藤　浩次 松岡　茉優 つるの剛士 向井　慧 丸山桂里奈 朝日　奈央 小芝　風花 赤楚　衛二 濱田　マリ 大和田　獏	「両親の出会いは？」「両親のプロポーズの言葉は？」知っているようで知らない両親のラブストーリー。この番組は親への徹底取材によって出演者の両親の淡い恋愛物語をリアルに完全ドラマ化。出演者の両親は豪華な俳優陣が演じ、馴れ初めから恋の試練、ファーストキス、プロポーズ、破局の危機まで、両親のラブストーリーを丁寧に紡いでいきます。自分の両親の知られざる恋物語に赤面したり感動したり…子供である出演者たちは複雑な思いで見守ります。ドラマ、映画よりもリアルな両親の純粋なラブストーリーに号泣したり笑い転げる出演者が続出です。	両親の恋愛ドラマを通して、ゲストの素顔に迫るという斬新な企画で、ドラマとバラエティを融合させた新感覚の笑いを作り出した。ドラマは旬の若手俳優を起用し、予告編まで制作する力の入れようで、その完成度の高さに驚かされた。

奨　励　賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者 等	概　　要	選 考 理 由
あなたの思い出 ジオラマにしませんか？ 2019.1. 5（土） ＣＢＣテレビ	演出・ﾌﾟﾛﾃﾞｭｰｻｰ　尾田　真一 ﾃﾞｨﾚｸﾀｰ　榊原　佑記 羽根田梅子 構成　八木　晴彦 政池　洋佑 撮影　市原　康則 編集　加田　晃紀 山下みゆき 音効　小林　洋介 出演　山里　亮太 石井　亮次 山本　高樹 山田　卓司	今はなき失われた風景や思い出を、時間と労力をかけてジオラマで精巧に蘇らせるバラエティ番組。 ジオラマは全く新しい思い出への触れ方だ。自分の中で全く覚えていなかった記憶が、ジオラマという装置をきっかけに蘇り、当時の感情がありありと目の前に呼び起こされていく。 今回は「伝説のキャバレー白いバラ」と「山里亮太が芸人になる原点の部屋」をジオラマ化。ＶＲを駆使し、タイムスリップ出来る舞台を用意した。当時の関係者への取材を重ねる中で見えてきた依頼者も知らない事実の数々。思い出を「ジオラマ」にすることでしか見えてこない世界がある。	ジオラマを使えば､今は消えてしまった景色を再現したり､果たせなかった夢を叶えることができる｡デジタル写真やＣＧが全盛のこの時代に､あえて手作り感満載のジオラマに注目し､依頼者の人生の岐路や決定的瞬間を蘇らせる手法が新しかった。
美の巨人たち 続々発見！若冲スペシャル～新たな傑作から人物像を探る～ 2019.3. 2（土） テレビ東京 日経映像	構成　間マサムネ 撮影　大手　洋行 山森　義明 ＶＥ・音声　福田　史基 編集　伊東　修一 ﾐｷｻｰ　慎次　実 音効　渡邉みさき ﾃｰﾏ曲　辻井　伸行 演出補　齋藤　薫 演出　野々上典子 ﾌﾟﾛﾃﾞｭｰｻｰ　岩尾庄一郎 栗本　宏 ﾅﾚｰﾀｰ　小林　薫 神田沙也加 出演　市川　紗椰 小倉　久寛 辻　惟雄 小林　忠 狩野　博幸 山下　裕二	2000 年に京都で行われた展覧会から火がついた伊藤若冲ブーム。以来、続々と出現する若冲作品。「美の巨人たち」でもこれまで 19 年間、数々の作品を取り上げてきました。その間若冲の研究が進み、様々な若冲の知られざる人物像が浮かび上がってきています。そこで長年の取材の成果の集大成として若冲の真の姿に迫ることに…。今や現代クリエーターをも魅了している若冲作品。そこから見えてきたのは、奇想の天才技巧派絵師というだけでない、奥深い若冲ワールド。タレントの市川紗椰と小倉久寛扮する円山応挙が、新発見作品を辿りながら奇想の画家の真の姿に迫ります。	日本でブームを巻き起こしている江戸時代の天才絵師、伊藤若冲の傑作･秀作を丁寧に紹介し､その独特の技法を解き明かした。2000 年の放送開始から､民放地上波唯一のレギュラー枠の美術番組として、視聴者に長く愛されたことも高く評価した。

第４５回 放送文化基金賞
「 番 組 部 門 」
― ラ ジ オ 番 組 ―

最 優 秀 賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者 等		概　　要	選 考 理 由
ＳＣＲＡＴＣＨ 差別と平成 2019.3.3（日） ＲＫＢ毎日放送 ＴＢＳラジオ 共同制作	ﾅﾚｰｼｮﾝ 植松被告の吹き替え 作曲･歌 ﾏﾝﾄﾞﾘﾝ演奏 ﾌﾟﾛﾃﾞｭｰｻｰ ﾃﾞｨﾚｸﾀｰ 制作協力 出演	長岡　杏子 櫻井　浩二 鳥山　穣 趙　博 ＝パギやん 矢野　敏広 竹島　史浩 鳥山　穣 神戸　金史 ＴＢＳテレビ 赤坂花丸 奥田　知志 貞刈　昭仁 貞刈　暢代 神戸　金佑	相模原市の障害者施設で 46 人を殺傷した植松聖被告は、「障害者は生きている価値がない」と言った。 ＲＫＢ毎日放送の神戸金史記者は、障害を持つ子の父だ。2016 年７月の事件発生直後、個人的にＳＮＳに書いた詩『障害を持つ息子へ』は、事件へのカウンターの言葉と社会に受け取られ、爆発的に拡散した。 「ＬＧＢＴには生産性がない」と公言する国会議員、ヘイトデモとして路上で可視化される民族差別。こうした「自分と他者の間に線を引き、向こう側の人々の尊厳や存在を認めない言動」を、この番組ではスクラッチ（ガリガリと線を引く意味）行為と名付けた。 障害者の親であり記者でもある立場で、神戸記者は６回の面会を重ねる。事件の底流に流れるものとは、何か。被告の言葉を手掛かりに探る中で見えてきたのは、現代日本の差別の姿だった。（なお、再現した植松聖被告の声は、実際に面会したＴＢＳラジオの鳥山穣プロデューサーが吹き替えを担当した）	相模原障害者施設連続殺傷事件を追った番組である。取材者は拘置所で犯人と 6 回の面会を重ねる。障碍者を持つ父親でもある取材者は、優生思想に凝り固まったパラサイト的な犯人の考え方と真正面から向き合わなくてはならない。番組の制作、取材の枠を越えて、お互いの生き方を賭けた人間としての真剣な対決である。張りつめた緊張感とみなぎる迫力。聴く者はそれに臨場する。 番組の視野は、ヘイトが溢れ、弱者切り捨てが当たり前のように行われている現代の日本の大きな課題にまで広がっていく。

優 秀 賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者 等		概　　要	選 考 理 由
ラジオドラマ 「ストリッパー物語」 2018.6.11（月） ニッポン放送 日本映画放送	作 脚色 演出 企画･ﾌﾟﾛﾃﾞｭｰｽ ﾌﾟﾛﾃﾞｭｰｻｰ 出演 語り	つかこうへい 羽原　大介 杉田　成道 宮川　朋之 松尾　紀明 小川　勇樹 筧　利夫 広末　涼子 広瀬　すず 笑福亭鶴光 馬場　徹 菅田　俊 津川　雅彦 神田松之丞	時は昭和の末年。盛りを過ぎたストリッパー・明美（広末涼子）と、その「ヒモ」に徹する男、シゲ（筧利夫）は、全国のストリップ小屋を巡業する日々。その二人の前にある日、一人の女子高生・美智子（広瀬すず）が現れる。それはシゲの実の娘だった・・・。 堕ちるところまで堕ちると決めたヒモとストリッパーの、一途な愛の物語。	ここのところ低調だったラジオドラマの世界に、画期的で斬新な可能性の穴を開けた。とんでもなく低俗なのに人間としての奇妙に高い志の織り交ざったつかこうへいの原作の圧倒的な力に支えられ、筧利夫、広末涼子らの出演、杉田成道の演出などにより、ラジオドラマの既成の枠を越えた独特の世界が出現した。

奨　励　賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者 等	概　　要	選 考 理 由
消せない記憶 ～元学徒兵の苦悩～ 2018.9.29（土） 琉球放送	企画・ﾘｻｰﾁ・取材・収録・編集　狩俣倫太郎 ﾅﾚｰｼｮﾝ　諸見里杉子 ｲﾝﾀﾋﾞｭｰ収録　田久保　諭 仲村　美涼 出演　宮平　盛彦 荻生　芳朗 川満　彰 池田　光一 狩俣倫太郎	日本で初めて中学生が戦場に駆り出された沖縄戦。終始軍隊と行動をともにした少年たちは壮絶な体験をしました。多くが尊い命を落とした事もさることながら、生き残った少年達も心に深い傷を負い戦後を生き抜いてきました。今年89歳の宮平盛彦さんは当時県立第一中学校 2 年生 14 歳でした。終戦を知らず島内を数か月もさまよい続けた宮平さんは、たどり着いた壕で日本兵が日本兵を殺害する現場を目撃します。この記憶は宮平さんを苦しめ続けます。 戦争は命を落とした方々の人生を奪っただけでなく、生き残った人達にも一生拭う事の出来ない苦悩を残しました。	14 歳のとき、沖縄戦の最中に日本兵が日本兵を殺す現場を目撃してしまった男性を取り上げた。戦争は人が人を殺す。少年に刻みこまれたその場面が、その後の 75 年間、えんえんと消えずに生き続けてしまっている。その時の兵士を探す旅をつづけ、ついにその縁者を探し出し、出会い、語り合う。 あの戦争がまだ終わっていないことを教えられる。

第４５回放送文化基金賞

「 番 組 部 門 」

演　技　賞

受　賞　者	対　象　番　組	選　考　理　由　等
桃井（ももい）　かおり	ＮＨＫスペシャル 詐欺の子 （ＮＨＫ名古屋放送局） テレビドラマ番組	オレオレ詐欺の本物の被害者が登場したのかと思わされるほどの迫真の演技であり、被害者の心理を痛いほどわからせてくれた。見事の一言に尽きる。

演　技　賞

濱田（はまだ）　岳（がく）	ドラマ２４ フルーツ宅配便 （テレビ東京） テレビドラマ番組	人を助けたいと思いながら助けられない弱い人間の芯の強さという難しいところを、説得力のある演技で表現した。シリアスとユーモアのバランスのとり方も優れていた。

演　技　賞

広末（ひろすえ）　涼子（りょうこ）	ラジオドラマ 「ストリッパー物語」 （ニッポン放送 日本映画放送） ラジオ番組	盛りを過ぎたストリッパー役に臆することなく果敢に挑戦し、きわめて魅力的な愛らしさ、清潔さを失わず、しかも女性の魔性の凄みを、ラジオを通して遺憾なく聞かせた。

企　画　賞

長嶋（ながしま）　愛（あい）	ＥＴＶ特集 静かで、にぎやかな世界 ～手話で生きる子どもたち～ （ＮＨＫ） ﾃﾚﾋﾞﾄﾞｷｭﾒﾝﾀﾘｰ番組	ノーナレーションで、まさに「静か」だけれども、「にぎやかな世界」を表現してみせた。 手話を「母語」とする子どもたちの、生き生きした表情が素晴らしい。

脚　本　賞

高田（たかだ）　亮（りょう）	ＮＨＫスペシャル 詐欺の子 （ＮＨＫ名古屋放送局） テレビドラマ番組	『詐欺の子』はドキュメンタリーを思わせるドラマによって友情や親の気持ちがしっかり描かれているために成功しており、脚本の完成度が非常に高い。

企　画　賞

樅野（もみの）　太紀（たいき）	～両親ラブストーリー～ オヤコイ （読売テレビ放送） ﾃﾚﾋﾞｴﾝﾀｰﾃｲﾝﾒﾝﾄ番組	両親の恋愛物語ほど気恥ずかしいものはない。それを徹底取材に基づいて完全ドラマ化し、ゲストの素顔やルーツに迫るという企画・発想が秀逸だった。

第４５回放送文化基金賞
「 個 人 ・ グ ル ー プ 部 門 」
― 放 送 文 化 ―

受　賞　者	業　　績	業　績　内　容　・　選　考　理　由
髙橋（たかはし）　孝之（こうし） （中海テレビ放送 副会長、サテライトコミュニケーションズネットワーク 社長）	30 年間にわたり地域･住民との協働による番組作りでケーブルテレビ界をリードし、全国 120 局以上に採用された緊急情報サービスで減災に貢献	1989 年に鳥取県米子市に開局したケーブルテレビ「中海テレビ放送」。そのリーダーとして 30 年間にわたり地域密着に徹した番組作りを推進。自社制作で放送する「コミュニティチャンネル」を重視し、ビデオジャーナリスト方式で取材したニュースを流し、緊急情報･災害情報にも力を入れる。一方で、髙橋氏が社長を務める「サテライトコミュニケーションズネットワーク」は、マルチ画面で災害情報などを全国のケーブルテレビ 120 局以上に提供。昨年の西日本豪雨などでも地元ケーブル局のＬ字画面に流れる情報を米子から遠隔操作し、減災に貢献した。これらの地域に根差した数々の実績を評価するとともに、今後の活躍に期待したい。

受　賞　者	業　　績	業　績　内　容　・　選　考　理　由
田辺（たなべ）　眞人（まこと） （園田学園女子大学名誉教授）	長年にわたる地域放送への貢献	ＮＨＫ神戸放送局が地元自治体と共催するイベント「新兵庫史を歩く」の講師を歴代最多の 18 回務める。兵庫県の政治経済、文化等の該博な知識をわかりやすく伝える独特な話術にはファンが多く、イベントの応募数が定員の 5 倍を超えるほどの人気を博す。また、ラジオ番組『新聞を読んで』（ＮＨＫラジオ第一）のコメンテーターや、2012 年の大河ドラマ『平清盛』関連施設「平清盛歴史館」の監修も担当した。現在は、『田辺眞人のまっこと！ラジオ』（ラジオ関西）でパーソナリティとして活躍中。地域の放送文化に対する多年の功労を表彰したい。

受　賞　者	業　　績	業　績　内　容　・　選　考　理　由
『ＲＡＢ 耳の新聞』パーソナリティと制作スタッフ （青森放送）	目が見えないパーソナリティたちの番組制作への挑戦と、ラジオ放送 40 年の成果	青森放送のラジオ番組『ＲＡＢ 耳の新聞』は、1978 年より 40 年間にわたり、毎週日曜の朝 6 時 40 分から 20 分間、視覚障害者に必要な生活情報を発信し続けてきた。番組のパーソナリティは 7 人の視覚障害者で、自らテーマを決めて取材や編集を行い、様々な情報や話題を伝えている。番組は一方で、晴眼者（目が見える人）にも視覚障害への理解を促してきた。40 年にわたり、目が見えないリスナーに「生きる勇気」を与え続けているパーソナリティたちと、それを背後で支えてきた青森放送の継続力を高く評価したい。

受　賞　者	業　　績	業　績　内　容　・　選　考　理　由
ＮＨＫ 潜水チーム （ＮＨＫ）	高度な専門技術力を駆使して半世紀以上にわたり多彩な水中映像コンテンツを制作	潜水カメラマンを中心とするＮＨＫ潜水チームは、1966 年より半世紀以上にわたり、幅広いジャンルの番組やニュースを、高度かつ多彩な水中映像の専門技術で視聴者に届けてきた。放送局が単独で編成する潜水チームとしては世界でも屈指の存在。ダイオウイカのスクープ映像を始め、極地、洞窟、沈船、大深度、被災地など、難度の高い現場が多い中、徹底した安全管理と高いスキルで、生物の貴重な生態や、水中の驚きの光景を撮影し続けている。８Ｋ４Ｋ番組も数多く制作し、新しい放送文化の創造に貢献している。

第４５回放送文化基金賞

「個人・グループ部門」

― 放送技術 ―

受賞者	業績	業績内容・選考理由
白黒映像自動カラー化システム開発グループ 代表　遠藤（えんどう）　伶（れい） （ＮＨＫ）	白黒映像の自動カラー化システムの開発	過去の白黒映像をカラー化することで当時の様子をより鮮明に伝えることができるが、従来は専門家が１コマずつ着色を行うため多大な労力とコストを必要とした。本システムはＡＩ（人工知能）を活用して、カラー化の精度と効率性・経費効果を格段に向上させた。既に８番組で利用され、従来２か月の作業を１日で済ませるなど運用性も含め現場でも高い評価を得ている。映像文化の発展を支える技術として極めて顕著な業績と評価できる。

受賞者	業績	業績内容・選考理由
ＡＩを用いた動画要約システム開発グループ 代表　宮原（みやはら）　駿太（しゅんた） （ＮＨＫ青森放送局）	ＡＩを用いた動画要約システムの開発	番組視聴を促す手段としてＳＮＳを活用し、番組等のＰＲ動画を流す重要性は認識されているが、地方局では人手もなく新サービスを行う余裕はないのが現状である。本システムでは、ＡＩを活用して、前説など番組内容を示すキーワードをもとに 10 分程度の動画を全くの自動でＳＮＳ用に数十秒に短縮することを可能とさせ、視聴者からも好評を得ている。人員に余裕のない地方局で新サービスを実現させたことは高く評価できる。

受賞者	業績	業績内容・選考理由
アオイエリカプロジェクト 代表　川上（かわかみ）　皓平（こうへい） （日本テレビ放送網）	テレビ局におけるアンドロイドアナウンサー「アオイエリカ」の開発と活用	既に多くの番組に出演している自律型ロボットアナウンサーであるが、構成する要素技術は放送の職人技、例えばベテランアナが構築してきたアナウンス技術やベテランスイッチャーの切り替えスキルなどの定量解析が含まれ、これらは新人教育に利用するなどアンドロイドを超えての放送分野における匠の継承・発展への応用にも繋がる。さらなる技術開発によりＡＩを活用した放送文化の継承・発展に寄与していくことを大いに期待したい。

受賞者	業績	業績内容・選考理由
木村（きむら）　浩也（ひろなり） （ＴＢＳテレビ）	ハイブリッド方式を用いた「ＴＢＳ ＮＥＷＳ」24 時間字幕付与システムの開発	放送番組への字幕付与は近年必須の課題となっている。本システムでは、ＡＩを利用した音声認識の活用も検討したが正確性から補完的な利用に留め、ニュース原稿、地上波ニュースの速記入力方式の原稿を使用するハイブリッド方式にすることで、字幕の正確性・スピードアップ、運用のコストダウンを実現している。半年以上の実運用で大きなトラブルもなくニュースチャンネル 24 時間字幕放送を確実に実現できたことは評価できる。